

2017年度事業計画

これまで構築してきたノウハウを生かし、他団体との関係を軸に新たな試みを柔軟に展開していくことを念頭に、これからの5年間を見据えつつ、初年度である2017年度は次のようなことを計画しています。

①【活動事業】国際プログラムの充実

他団体との協力・ネットワークから、グローバルな視野をもって社会を理解できるような新規プログラムを展開し、奉仕園の目的である「国際的視野に立つ青年の育成」に努めます。

- ・「CENNA夏期学校」「マイノリティー・ユースフォーラム」への参加と「中国延辺大学学生訪日研修プログラム」の実施。

②【学寮事業】施設管理及び留学生研修プログラムの拡充

- ・ 長期修繕計画に基づき、2017年度は第一国際学舎3号館の給湯設備の更新を実施します。
- ・ 2020年に実施予定である第一国際学舎3号館及び第三国際学舎5号館の大規模修繕・改修に向けて、引き続き工事計画の具体化、資金の積立てに取り組みます。
- ・ 留学生研修旅行として、新たに北海道三笠市を訪問するプログラムを開始します。

③【セミナーハウス事業】セミナーハウス施設更新、備品の充実

賃借しているキリスト教会館の6階会議室を本年7月に返却することに伴い、自前の施設をより充実し、お客様の多様なニーズにお応えすることができる施設・サービスを提供します。

- ・ スコットホール及びリバティールームのトイレ大改修
- ・ ベニンホフ記念館(5号館)のロビー新装

④スコットホール100周年(2021年)に向けて

100周年を迎えるにあたり、スコットホールの整備をスタートさせます。

- ・ 早稲田教会との共同のプロジェクトとしてパイプオルガンを設置(2019年1月設置予定)。早稲田教会は今春オルガンを正式発注します。
- ・ スコットホールのトイレ大改修

⑤事業(プログラム)評価のスタート

「参加型事業評価」の手法を用いて、事業評価を実施します。

- ・ 事業の目的、方法の再検証し、既存プログラムの改善に役立てます。
- ・ 事業評価を通して、早稲田奉仕園の目的をより明確にし、新しいプログラムを策定し実施します。
- ・ 評価のプロセスを通して、職員のスキル、モラールアップを図ります。

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding

日本の歴史や現状を学び、国際理解を深め、議論できる力を育む。沖縄フィールドワーク実施のための事前学習を行う。

対象：主に大学生、大学院生、青年

■沖縄フィールドワーク

世界の中、とくにアジアの中の日本を知るための体験型学習を実施する。4月下旬から5月上旬に沖縄にて行う。

人数：大学生、大学院生、青年 10 数名

期間：5月1日(月)から5月5日(金)まで、4泊5日予定

■Civil Society Education Network in Asia CENA夏期学校 (共催)

CENAは恵泉女学園大学、聖心女子大学、韓国の韓信大学、台湾の世新大学を中心としたネットワーク団体。平和学や国際関係学に関するテーマをアジアで学ぶ夏期学校を主催。2017年度は宗教とコミュニティ形成について学び、イスラム教コミュニティでホームステイなどを企画。

人数：大学生若干名（夏期学校の全参加者は50名程度）

期間：8月3日(金)から8月9日(金)まで、日程調整中

場所：インドネシア・ジョグジャカルタ

■マイノリティ・ユース・フォーラム (共催)

2015年度に在日大韓基督教会ほかが主催したマイノリティ国際会議の成果を受けて、マイノリティ宣教センターが設立する（8カ国から延べ163人参加）。設立後最初のプログラムとして、ユースフォーラムを開催する。現代日本におけるマイノリティに対する差別問題の現状を学び、さまざまなグループやコミュニティを横断するネットワークの構築をめざす。

日程：9月3日(日)から6日(水)まで

場所：在日韓国基督教会館（KCC／大阪市生野区）、大正区など

参加者：30名（国内参加者：25人／海外参加者：5人）

■中国延辺大学大学生訪日研修プログラム

「日本」に興味関心をもっている中国地方大学の大学生を日本へ招き、日本語を使う機会、日本文化・社会を理解する機会を提供する。企業訪問、日本の大学生や留学生との交流会、日本文化体験などの研修プログラムを通して、学生たちが新たな刺激を得て、より広い視点で「日本」を理解してもらうのを目的とする。

対象：中国地方大学日本語学科の学生、友愛学舎、国際学舎の居住者

期間：7月の6泊7日で調整中

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進するプログラム。友愛活動の一環として、国際学舎に居住する留学生及び早稲田大学留学生等を対象にプログラムを開催する。留学生が日本留学中に体験したいことをリサーチし、友愛学舎やゲストハウスの学生とともに活動ができるプログラムや研修旅行を計画する。

スケジュール：6月歌舞伎鑑賞、7月七夕、11月紅葉狩り、1月餅つき（早稲田教会と合同）、
3月ひな祭り

対象：奉仕園寮の学生、早大留学生、日本語ボランティアの会参加者など

■アジアの文化を体験しよう

アジアの家庭料理教室の開催や映画上映会、都内・近郊で行われるエスニックイベントへの訪問等を通じてアジアを体験する。

期日：随時

対象：学生、社会人

■STUDY HALL！

単発の講演会、映画上映会、料理(レシピ)教室、ワークショップ、フィールドワークなどの単発イベントを束ねる枠組み。「STUDY HALL」は主にアメリカで使われる「自習室」の意。まなび舎の4つのカテゴリーに沿い、「おもしろい学び」の空間を目指す。ある程度集客を期待

できそうな企画について時期を逃さずに実施、「おもちゃ箱」のように、雑多であることを特徴とするプログラム。活動舎のプログラム(社会福祉、貧困、震災支援)に関わるテーマのイベントの開催も検討する。

期間：年8回程度不定期に開催予定

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア講師として日本語を必要としている学習者にボランティアで日本語を教える。課外活動、学習者発表会、新年会、研修会など随時行う。会報も年2回発行。

開講日：水曜日：3クラス 金曜日1クラス

対象：ボランティアは奉仕園日本語教師養成講座修了者、学習者は日本語学習を必要としている外国人の方など

■早稲田ネットワーク外国人無料生活相談会(共催)

日本社会で暮らす在日外国人への無料相談窓口を開設することで、行政や教育的な制度活用を支援し、共に生きる社会を身近な形で実現していく。生活・労働・教育の分野で相談スキルを持つ個人が集まって、相談業務に当たる。大学生のボランティアを募り、NGO等の民間団体の役割の重要性を学び、使命感を持つ次世代の育成も視野に入れる。

日時：毎月第2日曜日

対象：運営は大学生・院生ボランティア、相談者は在日外国人

■震災被災者支援ボランティア活動

(1) 福島原発事故により首都圏に自主避難されている家族を招待し、奉仕園留学生とともに国際交流を兼ねた富士登山(8月開催予定)を実施。

協力：YMCA同盟東山荘、NPO ココロとカラダを育てるハッピープロジェクト

(2) 災害発生時、受入先がある場合に学生・青年による初期の支援ボランティア、学生が企画するワークキャンプなどの支援を行う。

(3) ■野宿者支援給食活動 (共催)

渋谷での野宿者支援給食活動に参加し、ボランティア活動を通して貧困や生存権の問題を身近に感じる。

期日：原則毎月第1、第3日曜日

対象：学生、社会人ボランティア

共催：日本福音ルーテル本郷教会／本郷学生センター、日本キリスト教団早稲田教会

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語

①通年クラス

ベンガル語、ヒンディー語、ミャンマー語の言語を学習する語学講座及び料理などの文化や地域社会を学ぶプログラムの開催を通して、人材育成及び文化理解の促進を図る。言葉の習得にとどまらずアジアの各地域の文化や習慣、社会を理解することをめざす講座。語学講座は言語にもよるが、入門クラスから中級・上級クラスまでレベルごとに幅広くクラスを展開する。その他関連するプログラムを単発のイベントとして開催する。

期日：前期・後期の2期制、週1回 各期14回

対象：学生、社会人

②韓国語通訳2日間レッスン

通訳の第一線で活躍する国際会議通訳者が講師を担当。韓国語通訳の学習法を紹介し、実際に体験することを通して、学習者の韓国語力アップならびに、弱点の克服を図る。韓国語ネイティブの講師による丁寧な指導を通して、日本語から韓国語への訳出にも挑戦し、韓国語らしい表現力を身につける実践的なトレーニングを行う。

講師：ペ・スンジュ(7月)、矢野百合子(3月)

期日：7月および3月の休日2日間予定

対象：学生、社会人 学習経験3年以上(ハングル検定2級程度の方)の方

■日本語ボランティア養成講座

外国人に日本語を教えるノウハウを学ぶ講座。初級Ⅰ、初級Ⅱ、中・上級を1年かけて学ぶ。

初級Ⅰ終了後からボランティア活動が開始できるようになる。

期間：初級Ⅰ4月～全16回、初級Ⅱ10月～全11回、中・上級2月～全4回

講師：数土容子(武蔵大学教員)

対象：学生、社会人

■<まなび舎>Let's 朗読

ストレッチで体をほぐした後、発声練習で発音や発声をクリアにし、作品に取り組み、詩や物語を感じながら朗読する。

期日：前期・後期の2期制、各期8回

講師：飯田晶子(朗読家)

対象：学生、社会人

■水彩画レッスン

日々の暮らしのなかで、旅先でスケッチを楽しむためのレッスン。屋内のほか、都内近郊の街や建物などをスケッチする。3月はスケッチ合宿を予定。受講生と講師による作品を修了展として2月の6日間開催。

期間：通年 全10回

講師：森本太郎(美術作家)、渡邊義孝(建築家)、河原美由紀(画家)、岸成行(建築家)、原游(現代美術)、藤原成暁(建築家)

対象：学生、社会人18歳以上

■北田英治の写真講座

くらしの中の身近なものや風景を撮りながら、写真を楽しむための講座。座学では受講生や講師の写真をみる講評会、フィールドワークでは都内近郊の街を歩いて撮影する。11月は撮影合宿を予定。夏と冬に2日間の写真展、3月に6日間の修了展を予定。

期間：通年全10回

講師：北田英治(写真家)

対象：学生、社会人 18 歳以上

■スコットホールでゴスペルを歌おう

スコットホールで思い切り声を出し、合唱を楽しんで元気になる！ストレッチ、ボイストレーニングをし、シーズンの課題曲（講師によるオリジナルアレンジ曲）を練習。4 月には Open Voice Day!、12 月にクリスマス発表会を開催するほか、地域でのイベント参加やボランティア活動にも取り組む。

期間：シーズン 1(4 月～6 月)、シーズン 2(7 月～9 月)、シーズン 3(10 月～12 月)、シーズン 4(1 月～3 月) 各シーズン 7 回

講師：藤子(プロシンガー)

対象：学生、社会人

■聖書講座－新しい聖書の学び(共催)

山口里子氏著『イエスの譬え話 2：いのちをかけて語りかけられたメッセージは?』をテキストに、聖書や教会、既成の神学の枠組みに疑問を持ちながら、新しい聖書の学びを試みる。

期間：通年 月 1 回 全 9 回

講師：山口里子(日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター)

対象：学生、社会人

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

(4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

舎生数：2017 年度は 4 年生 3 名(男子 1 名・女子 2 名)、3 年生 4 名(男子 1 名・女子 3 名)、2 年生 3 名(男子 3 名)の在寮生に加え 新 1 年生 3 名を募集する。

活動：朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の 7 時から 7 時 30 分まで。聖書研究及び学生発表等を行う。

舎生会 毎月 1 回開催、友愛活動・生活について話し合う。

年間活動 4 月の活動開始に向け、新入生を含めたオリエンテーションを 1 泊にて実施、

寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持つ。卒舎式(3月)などの行事のほか、年中行事を楽しむ会などを担当し企画運営をする場の提供をする。また教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を増やしていくようにし、広い視野を持って社会に出て行かれるような学生生活となるようサポートする。

福山裕紀子副牧師(早稲田教会)にカウンセラーとして、古賀博牧師、大矢直人牧師に聖書研究のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕をいただいている。

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。年数回の会合をもちまわりで開き、寮運営、プログラム等について情報交換をおこなう。現在、友愛学舎、早大YMCA信愛学舎、山手学舎、山上学寮、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、東大YMCA寮、一橋YMCA寮の9学寮が加盟している。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮。友愛学舎と連携をして奉仕園のプログラムなどへの積極的な参加を促しともに活動を担っていくように位置づけたい。

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業(国際友愛学舎)

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮 152 室に 140 名(11 月現在)が在寮。レジデントアシスタント(RA)がRAコミュニティールームに平日の19時から21時まで常駐。

既往歴のある学生などをはじめとしレジデンスセンターとの情報共有に努め、留学生が安心して安全な寮生活が送れるよう、近隣にある交換留学生寮(早大寮・西早稲田寮)との連携を図りつつ管理運営を行う。

■留学生健康相談室の運営

必要に応じて個別面談を実施し健康状態の把握に努める。大学とも連携を取り、緊急時を含めて

対応できるような体制をとっており、連絡体制などを随時確認していくようにする。

開室時間：週 2～3 回午後（開室時間 火・水・金 14：00～18：00）

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症（インフルエンザ等）についての情報提供、アンケートでの健康状態の把握など。

■FRIDAY・NIGHT

寮生間の親睦をはかるパーティー。入寮の時期となる 4 月及び 9 月に開催、9 月は Japanese Night として友愛学舎がホストを務める。

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、12 月 9 日に開催予定。交流パーティーのほか、グループや個人によるアトラクションを予定。他の早稲田大学交換留学生寮へも呼びかける。

■第 14 回長野市大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、小学校訪問、農作業体験、ホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験する。

人数：奉仕園在住の学生・研究者を中心として 10 名～15 名

期間：5 月下旬から 6 月上旬 2 泊 3 日

協力：公益財団法人育てる会大岡ひじり学園、長野市教育委員会

内容：大岡中学校での交流会、農家へのホームステイ、郷土料理実習、農作業体験、陶芸実習、自然散策、歴史的建造物の見学、ほか

■第 7 回富士山登頂研修旅行

留学生と三学舎の学生を参加者の中心とし、国際交流と富士山の自然に触れることを目的に共に山頂をめざす。事前のオリエンテーションにおいて、富士山のこと、登山の知識等のレクチャーをおこなう。NPO ココロとカラダを育てるハッピープロジェクトの協力も得て、原発事故の放射能汚染により首都圏へ避難／福島県内に在住している家族の参加も募集する。

人数：留学生 10 名、三学舎学生 10 名、及び被災家族 10 名計 30 名程度

期間：7 月 29 日（金）から 31 日（日）までの間の 2 泊 3 日（1 泊は山小屋）

協力：日本YMC A同盟東山荘、NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクト

■第12回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

早稲田大学留学生が静岡県御殿場市を訪問し、富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環境への理解を深める。三学舎の学生を中心として留学生との合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者20名、三学舎学生若干名

期間：2月初旬の2泊3日

協力：日本YMC A同盟東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、郷土料理実習、箱根観光等

■北海道三笠市研修旅行

通常東京で生活を送っている留学生が北海道三笠市を訪問し、史跡散策、ホームビジット、学校訪問などを通じ日本文化に触れ、人々との交流をおこなう。都会では経験することのできない豊かな自然に触れ、日本の自然環境への理解を深める。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生10名程度

期間：10月中旬ごろ2泊3日

協力：三笠市教育委員会

内容：市内学校での交流会、農家へのホームビジット、郷土料理実習、自然散策、歴史的建造物の見学、ほか

■ホームビジット

留学生に東京近郊の一般的な日本人の生活に触れてもらう機会を提供する。

協力依頼：奉仕園OB OG、早稲田教会、東京平和教会、奉仕園日本語ボランティアの会、稲門会など

実施期間：前期 6月5日～7月2日、後期 10月23日～12月3日

また、クラシックコンサートやお芋ほりなどの体験などホームビジットの関係を通じご招待をいただいている繋がりを大切にしていく。

■留学生インスタ写真展

インスタグラムを使用したWEB写真展を開催し、留学生による日本で撮影した写真を広く募集する。

対象：日本に住む海外からの留学生。

期間；年1回

協賛：公益財団法人高山国際教育財団、万座温泉日進館

広報企画協力：特定非営利活動法人JAFSA

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

月極駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。2018年に日本バプテスト同盟東京平和教会及び日本基督教団早稲田教会が使用している住宅・事務所・集会室の使用契約期間満了を迎えるため、本年度より更新に向けた協議を開始する。

■施設管理受託事業

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■施設の貸与(会議室・ホール・ギャラリー)

施設の有効利用を心掛け利用拡大に努める。顧客の要望と施設の特性を鑑みながら備品・設備の改善を積極的に行う。特に今年度はホール利用の利便性を高めるため設備(特に水周り)の改修や備品等の更新を行う。

■早稲田スコットホールギャラリー

ギャラリーは 企画展を数回開催するとともに、施設の特性を生かした形でオープンスペースとしての利用を誘致する。

■プログラム(協賛を含む)の開催

年3~4回程度、趣旨に賛同する集会について、使用料の割引やチケット等の買い上げにより、集会や活動を協賛する。また、東京都文化財ウィークに合わせたスコットホール公開事業(11月頃)を行う。チャリティー古本市(5月、10月)を実施する。

3. 事業共通業務

■事業評価

「参加型評価」の手法により、事業の目的、効果等を再検証し今後の改善や新規プロジェクトの立案に役立てる。明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授・非営利組織評価センター理事である源由理子氏に指導いただく。

■広告・宣伝

ホームページはパソコンとスマートフォン・タブレット端末での閲覧数が同数に近づきつつある傾向を受け、2017年度はそれぞれの機器で見やすく表示できるよう“レスポンス対応サイト”作成および切替えをする。また、引き続きフェイスブック、ツイッター、ブログ等多彩なメディアの活用を促進する。

■施設管理

おもな補修、施設更新、備品購入等は次のものを予定している。

学寮事業部 ・ 国際友愛学舎(3号館)給湯器交換工事

・ 防災用品倉庫整備

セミナーハウス事業部 ・ リバティールホール洗面所及びトイレリニューアル工事

・ スコットホールトイレ拡張改修工事

・ スコットホール雨水枡交換工事

・ セミナーハウス(5号館)通用口改修工事

・ セミナーハウスのロビー椅子、テーブルほか備品更新

・ ロビー案内板モニター設置

4. 法人総務

■賛助会員・寄付金募集

本年度も引き続き賛助会員の獲得にあたるほか、奉仕園通信発行に合わせて、学生活動のための寄付を募る。

■広報

奉仕園通信の発行は年2回を予定。

■財団会議

理事会：第1回定時理事会(6月)、第2回定時理事会(2018年3月)、臨時理事会(7月頃)

評議員会：定時評議員会(6月)

常任理事会：数回開催

このほか必要に応じ、臨時理事会、評議員会、評議員・理事・監事懇談会を開催する。

■監査

監事監査：5月、11月

監査法人監査：5月(決算)、11月(期中)、3月末(実査)

■理事人事

現理事は、本年6月の定時評議員会終了をもって任期満了となる。同評議員会にて理事の選出を行う。新理事選出後、臨時理事会にて理事長、専務理事及び常任理事を選定する。

■内閣府関係

- ・『税額控除に係る証明』の有効期限が9月9日までなので継続を申請する

■専務理事交代式・感謝会

吉田専務理事の退任にあたり、夏季に専務理事の交代式及び感謝会を開催する。

■キリスト教施設長会議

施設長会議を2018年1月に開催予定(会場未定)

■資金調達及び設備投資

(1) 資金調達の見込みについて

下記固定資産建物建設支出計上の設備更新のため、市中銀行（りそな銀行早稲田支店）より 1500 万円を借り入れる。

(2) 設備投資の見込みについて

建物建設支出	リバティールホール洗面所リニューアル	2,000,000	(収益 2)
建物建設支出	リバティールホールトイレリニューアル	2,000,000	(収益 2)
建物建設支出	スコットホールトイレ改修	9,000,000	(収益 1・2・管理)
建物建設支出	スコットホール雨水枡交換	1,000,000	(収益 1・2・管理)
建物建設支出	5号館通用口改修	1,500,000	(公益・収益 2・管理)
	建物建設支出計	15,500,000	
構築物支出	3号館第1国際学舎給湯器交換	2,200,000	(公益)
什器備品	セミナーハウスロビー椅子、テーブル、案内板モニター他購入	2,200,000	(収益 2)